

四日市市文化会館の第1ホール、第2ホールが、舞台照明のLED化とデジタルシステムへの対応を実施。照明器具の一部はハロゲン器具からLED器具に更新し、消費電力を削減すると同時に操作性を向上。より多彩な照明演出に対応できる環境を創出しています。

四日市市文化会館は、市制施行80周年記念事業として建設され、1982年に竣工しました。伝統芸能やオペラ、クラシックコンサートにも対応可能な最大席数1,786席の第1ホールをはじめとする4種類のホールを備え、さらに4種類の展示室を備えたギャラリー棟を併設。自主事業として、さまざまなジャンルの公演を行っているほか、企画展示やセミナー、ワークショップなども開催しています。



【物件概要】  
所在地：三重県四日市市安島2丁目5-3  
第1ホール最大席数：1,786席  
第2ホール最大席数：593席  
施主：四日市市  
設計：(株)石本建築事務所  
施工：電気/泗水電機(株)  
リニューアル完成：2022年3月

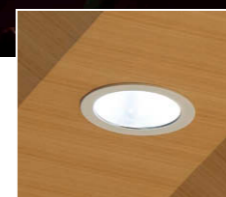


第2ホール(音響反射板使用時) 音響反射板の天井に調光に合わせて色温度が変化するLEDシアターシリーズダウンライト①を採用。

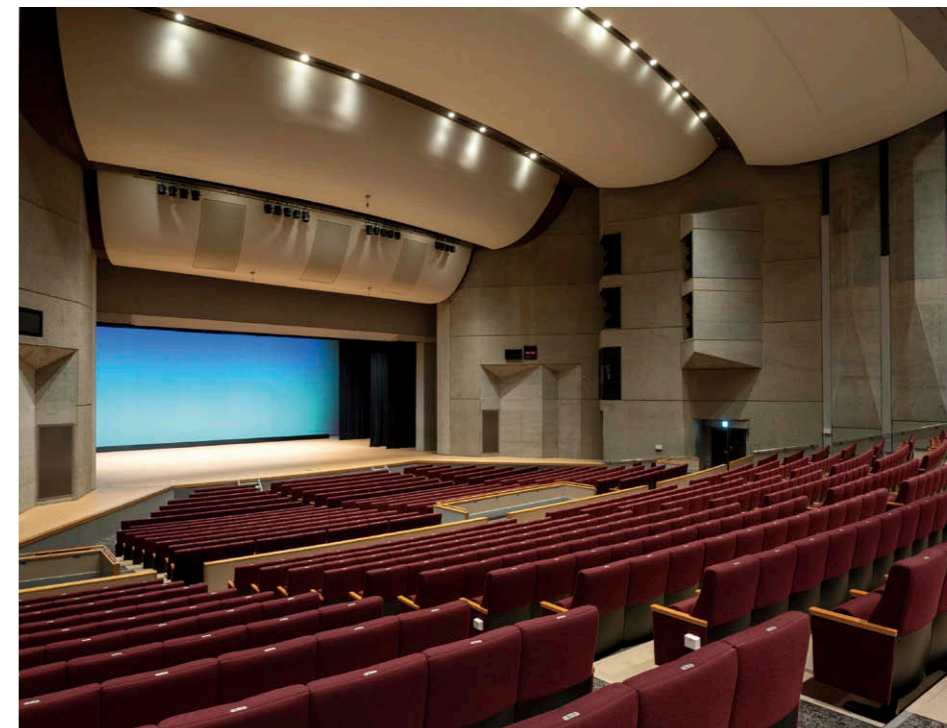
音響反射板にLEDシアターシリーズダウンライトを採用。多チャンネル器具も制御可能に。

四日市市文化会館は1982年に竣工しました。その後、2018年と2019年に客席照明のLED化を実施し、第1ホールは2000年3月、第2ホールは2003年3月に調光設備更新を実施しています。今回は、前回の更新から約20年を経た設備全体の老朽化を受け、舞台照明のLED化とデジタルシステムの整備を主眼として改修が行われました。第1ホール、第2ホールともに、音響反射板の既設ハロゲン器具を、調光に合わせて色温度が変化する「調色モード」を備えたLEDシアターシリーズダウンライトに更新。発熱を抑えながらも、ハロゲン電球と同様の雰囲気

のある調光が可能です。また両ホールともフルカラーLEDポーターライトを採用し、バリエーション豊かな色彩で多様な演出を可能にしています。調光操作卓は、両ホールともデジタルシステムに対応したLICSTAR-V TypeSに更新しています。ステージの各ボタンは従来DMX信号のみを分配していましたが、今回の改修によりイーサネット™\*を分配。多チャンネル器具やフルカラーLED器具の制御も対応可能になりました。また、可搬形調光器PORTABLE DIMSTAR IIIを、第1ホールに12台、第2ホールに6台配備し、フレキシブルな舞台照明演出を可能にしています。



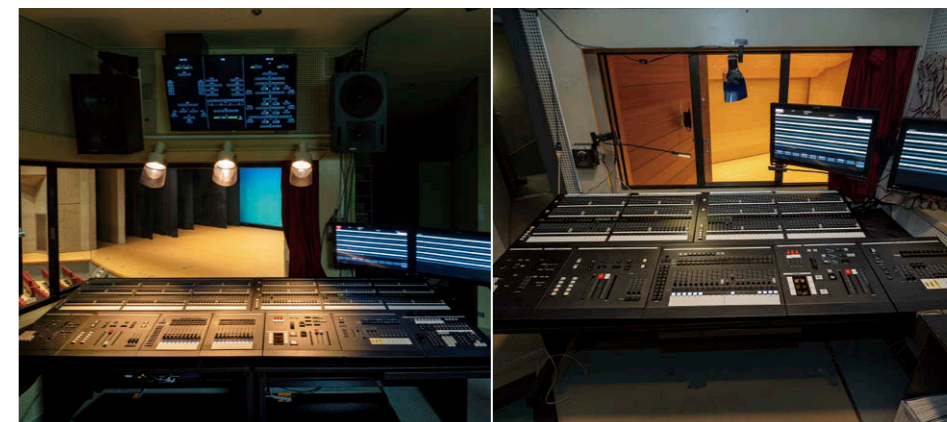
LEDシアターシリーズダウンライト①



第1ホール(水平使用時) ポーターライトを従来のハロゲン器具からフルカラーLEDポーターライト②に更新。音響反射板はLEDシアターシリーズダウンライト①に更新。



第1ホール(舞台上) フルカラーLEDポーターライト②により色彩豊かな照明演出が可能。



第1ホール調光操作卓③  
プリセットフェーダ120本×3段、サブマスタ20本を備えたLICSTAR-V。

第2ホール調光操作卓④  
プリセットフェーダ80本×3段、サブマスタ20本を備えたLICSTAR-V。

主な掲載器具一覧					
設置場所	器具名(品名)	形名	台数	備考	
第1ホール	音響反射板	① LED シアターシリーズダウンライト(開口径目安Φ200mm)	42	消費電力：91.5W	
	舞台照明	② フルカラー LED ポーターライト	50	消費電力：160W	
	調光室	③ 調光操作卓	1式	—	
第2ホール	音響反射板	① LED シアターシリーズダウンライト(開口径目安Φ200mm)	27	消費電力：91.5W	
	舞台照明	② フルカラー LED ポーターライト	28	消費電力：160W	
	調光室	④ 調光操作卓	1式	—	
調光室	インテリジェント調光器	PLUG-IN DIMSTAR III	2式	—	

\*イーサネット™は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。